平和について考えてみたよ

全国檀信徒子ども平和会議

子どもたちが平和について考える全国檀信徒子ども平和会議が去る3月24日～25日、一泊二日の日程で総本山知恩院と華頂短期大学を会場に開催され三十四名の小中学生が参加しました。

会議では参加者が少人数のグループに分かれて、「環境と平和」「家族と平和」「友だちと平和」「いのちと平和」のテーマに沿った意見交換が行われ、様々な意見が出されました。普段あまり考えた事のないテーマであり、とまどう子も多いようでしたが、短い時間にいろいろな意見を聴き、自分の思っていることを発言してくれました。2日目のまとめとして、各グループの出された意見を代表の子どもたちから発表されました。

当日参加者に書いてもらった感想文の中からいくつか紹介します。

「平和を話し合う中で、命や家族などいろんなこととのつながりを知った」

「世界全体のことから考えずに、身の回りのことからコツコツと小さな問題を解決していくということも大切だとわかった」

「純粋に優しい心を持つことのすばらしさを学ぶことができた」

←次のページへ

イキイキ★コドモタイムズ 第12号

発行
浄土宗児童教化連盟

事務局
〒590-0935
大阪府堺市堺区
神明町東3-1-40
法伝寺内
TEL・FAX
072-233-5354

おおきに和尚の「笑顔がステキな君たちへ」

やあ、みんな！　わいはおおきに和尚や。元気でやってるかな。

みんなは「みょうががいい」「みょうがが悪い」という言葉を聞いたことはないかなあ。昔の人はよく使ったらしいんやが、今はほとんど聞かないねえ。

「みょうが」は「冥加」と書くんやが、目に見えない神仏のご加護、つまり神様仏様の手助けという意味なんや。

みんなは物を大切にしてるかなあ。食べ物も残さないで一生懸命食べてるかなあ。

昔の人は、まだまだ使える物を捨ててしまったり、食べ物を粗末にしたりすると「冥加が悪い」と言うたそうや。反対に物を大切にしたり、食事も残さず大切に食べると「冥加がいい」と言うた。つまり物は無駄にしないで大切に使えば、神様仏様から知らないうちに幸運を受けるし、粗末にしたら幸せはいただけないということやな。「もったいない」の精神やなあ。

環境の分野で初めてノーベル平和賞を受賞したケニア人女性のワンガリ・マータイさんが二〇〇五年に来日した時、心に深く感じたことは「もったいない」という日本語だったそうや。ゴミを減らすこと・再利用・再資源化という環境活動の内容を「もったいない」という日本語の一言で言い表すことができる。マータイさんは日本語の「もったいない」を「MOTTAINAI」として環境を守る世界の共通語として広めることを呼びかけたんや。

今の時代はたくさんのモノがあふれていて、物のありがたみがわからなくなってきてる。「たくさんあるからええやん」「他に代りの物があるからいいでしょ」とついつい思ってしまうけど、たった一つしかない物だったらみんな大切にするよなあ。

みんなも「もったいない」の気持ちで一つ一つを大切にして、仏さまから良い冥加をもらってやあ。おおきにおおきに。

（田中信道　浄土宗社会国際局長）

全国檀信徒 子ども平和会議

「宗教というものにたくさんの疑問を持っていたが、平和会議で命は家族がくれた宝物のようなものなんだということがわかった。私はこれから続いていく命の輪をつなげていきたいと思う」

「自分の命があるのは当たり前だと思いがちだけど、本当はそうじゃなくて、いろんな人の支えがあるから今この場所に自分がいるんだなあと思った」

「平和についてくわしく考えていったので難しかった。ここで話し合った事は私が親になっても忘れないでいようと思った」

参加してくれた子どもたちにとって、かけがえのない体験を持って帰ってもらったようです。

「いろんな人の意見を聴いて、いろんな考え方があるということがわかった」

「命についてあまり関心がなかったけれど、平和会議で命は家族がくれた宝物のようなものなんだということがわかった。私はこれから続いていく命の輪をつなげていきたいと思う」

八正道の第三回目、「正語」についてのお話だよ。

「正語」というのは、正しい言葉でお話をしようということ。つまり、うそいつわりの言葉や乱暴な言葉、人を傷つけるような言葉を使わないようにしようということだよ。

ところで、みんなに質問があるんだ。なぜ、みんな日本語をしゃべるようになったんだろう？

「そんなの、日本で生まれたんだから、日本語をしゃべるのは、当たり前だよ！」

そうだよね。みんな生まれてからずっとお母さんやお父さんの話す言葉を聞いて育ってきたんだものね。でもね、本当にそれだけの理由なんだろうか？

ここでみんなにひとつお話を聞かせてあげよう。

昔、シシリアの領主で言葉に深い関心を持っていたフレデリック2世は、多くの乳児を集め、その子どもたちを数人の乳母に、決して言葉をかけないようにして育てさせたんだ。この子どもたちは何の言葉も教えられないかいずれ本来持って生まれているはず人間の言葉を話し始めるはずだと考えた。実験の結果はどうなったと思う？

子どもたちは全員死んでしまったんだ。子どもたちは、乳母に優しい笑顔で見つめられたり、抱っこしてもらったり、そして愛情のある言葉をかけてもらうこともなかった。だから、寂しくって、悲しくって、死んじゃったんだ。子どもが元気に育つためには、ミルクや食べ物も大切だけど、それよりお母さんやお父さん、周りの人たちの愛情のこもった世話のほうがもっと大切なんだ。これは、医学的にも確かめられているんだよ。

もう分かるよね。君たちが元気に育ってこられたのは両親や家族のいっぱいの愛情のおかげなんだ。そして、日本語をしゃべるようになったのは、お母さんたちが愛情のこもった言葉で語りかけてくれたからなんだ。

今君たちは、周りの人たちに愛情のある言葉で語りかけている？愛情のある言葉こそが「正語」なんだ。言葉に愛を込めようよ！　正語は周りの人たちを幸せにする！　そしてその言葉を使う君たちも幸せになるんだ！

◆イキイキ自然学校◆

竹の不思議

日本レクリエーション協会 インストラクター　永目喜一郎

竹は何科に属すると思いますか？　実はイネ科に属しています。でも他のイネ科の植物とはずいぶん違ったところがあります。竹の子の時の節と同じタケが2～3ヶ月で成長してしまいますが節の数はどうでしょう？　10m以上も長くなっても節の数は同じなのです。普通のイネ科の植物の成長点は根の少し上にあるのです。で、そこから芽を出して上に伸びるのですが、竹の成長点は節にあって節と節の間が伸びて長く成長するのです。おもしろい事に成長する時に皮をはいでしまうと成長が止まってしまいます。という事は皮から成長ホルモンが出ている事がわかりますね。それにイネ科の植物はほとんどが一年草であるのにタケは50～60年も生きます。又、竹はタケとササに分けられます。タケは成長してしまうと皮がはがれ落ちてしまうのが特徴です。ササは成長してしまっても皮がはげません。だからオカメザサはササと言いますが本当はタケなんです。又メダケはタケといっても皮が落ちませんのでササに分類されます。

プラスチックの出現で竹林は荒れてしまっています。自然の竹林のある所は地下水が豊富だとも言われています。みんなも山へ行って自然の不思議を感じて下さい。

訂正　前号の記事で「茅輪痕」とありましたが、正しくは「芽輪痕」のあやまりでした。作者の永目先生におわびし訂正します。

ナムナム質問箱

質問

ごはんを食べるときに「いただきます」食べ終わったら「ごちそうさま」ってなぜ言うの？

（岡山県　小学校6年）

答え

さて皆さんは、いつも朝・夕の食事や学校での給食を、残さずしっかり食べていますか？　好きなものだけ食べて、嫌いなものは一つも食べないなんて事はありませんか？　手を合わせて、食べる前に「いただきます」、また食べ終わったときには「ごちそうさま」って言うよね。

今回は、なぜ言うのか考えてみましょう。

まずは質問です。あなたは昨日の夕食に、何を食べましたか？

お米にお肉にお魚にきゅうりにトマト…。メニューによってそれぞれ食べたものは違いますが、一つだけ同じところがあります。それは、全てそれぞれに尊い命をもっている物を、食べたってことです。

牛だって、魚だって、お米の一粒にだって…。その命あるものを食べることで、私たちは今生きているということです。

魚を食べれば、魚の一生を食べたのと同じ。米を食べれば、来年には稲に育つ種の命を食べたことになりますよね。だから尊い命を犠牲にして、私たちの食べ物になってくれた「おかげ」を大切にし、感謝の言葉として「いただきます」と、手を合わせて言うのです。

食後の「ごちそうさま」は、漢字で書くと「ご馳走さま」となります。「馳」も「走」も「はしる」という読みの漢字です。だからといって、おなかがいっぱいになったから、元気に走り回るってことではありませんよね！　やはり「ごちそうさま」も感謝の言葉の一つです。

「馳」は「はせる」とも読み、「気持ちをむける」という意味になります。皆さんが食べた食材は、たくさんの人がおいしくいただけるようにと走り回って集めて下さり、また育てて下さり、運んで下さり、そしてお料理して下さる。そんな人々の願いと努力があって、始めて夕食となったわけです。この方々の「おかげ」への感謝の気持ちが、「ごちそうさま」になるわけです。

ご飯を食べることは、たくさんの命をいただき、たくさんの人たちのおかげがあって、はじめて出来ることなのですね。

だからこそ、食べるときはしっかり食べて、気持ちも身体も元気になったら、「おかげ」に応えるよう、しっかり遊んでしっかり学んで、人のために尽くせる人になりましょうね！

（浄土宗で使われている「食前の言葉」・「食後の言葉」です）

「食前の言葉」

我ここに食を受く、つつしみて天地のめぐみと人々の労に謝したてまつる

「食後の言葉」

我食おわりて、心豊かに力身に満つ。己がつとめに勤しみ、誓ってご恩に報いたてまつらん

イラスト　by 池田　敦

みんな、できるよ！

手当ての方法（やり方）

ケガの調べ方(3)

LSFA
インストラクター
トレーナー
吉田一心

さあ、今回もケガの調べ方を続けよう。一ヶ所を触ることに「ここ、痛くない？」と必ず声をかけ、顔を見ながら調べよう。

7．肩甲骨

肩甲骨は背中の左右にある平らな骨。

(1)写真のように、指先で軽く押しながら、痛みや変形を調べよう。

8．鎖骨

鎖骨はのどの左右にある細く長い骨。

(1)左右を見比べて変形がないか調べよう。

(2)次に、右、左と片側ずつ指先でなぞるようにして痛みを調べよう。

9．肩

(1)変形がないか左右を見くらべよう。

(2)次に、肩全体を手のひらで握って痛みがあるか調べよう。

10．腕・肘・手

(1)右手と左手を変形がないかよく見くらべよう。

(2)腕（上腕）から指先まで片手ずつ手で触りながら痛み、変形がないか調べよう。

(3)その時同時に、触られている感じがするか聞いてみよう。（しびれと感覚を調べる）

＊触られている感じがしない人は、首のケガなどで神経がダメになっているかもしれない。そんな時は救急車を呼ぼう。

(4)肘は自分で曲げられるかやらせてみる。（本人が曲げられない時、無理に曲げてはいけない）

(5)指は握って開いてをやはり自分でやらせてみる。

ユニバーサルデザイン って、なんだろう？ その1

NPO法人日本ユニバーサルデザイン研究機構

左の写真は、道路脇でよく見かける側溝のフタです。このようなふたのある側溝に、つまづいたり、物を落としてしまった経験はありませんか。

左のフタは利用したことがあるでしょうか。溝の間隔を狭くしただけですが、物は落ちにくく、ヒールや車輪も落ちにくくなっています。また、落ち葉やごみも落ちにくくなります。

ちょっとした違いですが、このような工夫により、目の荒いフタよりも目の細かいフタのほうが、車イスを使っている人、ベビーカー、自転車、掃除をする人など、もっとたくさんの人に使いやすくなっています。

このように、誰かのためだけの特別な工夫をしなくても、できる範囲で１人でも多くの人にとって使いやすくなる設計やデザインが、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方です。

■ バリアフリーに違和感？ ユニバーサルデザインの誕生

「ユニバーサルデザイン」という考え方は、実は、「バリアフリー」に違和感を持った障がいのある人が考えたものだということを、知っていましたか？

1960年代、アメリカ合衆国では、戦争の影響もあり障がいを持つ人が急増しました。そのため、障がいを持つ人の不便をなくすため、バリアフリーなものや場所が増えました。

ロナルド・メイスさん

しかし、障がいがある人は、障がいのある人専用で、障がいをある人を特別扱いする「バリアフリー」ではなく、みんなと一緒に同じ場所を遣いたかったのです。車イスを使っていたロナルド・メイスさんもその一人で、「バリアフリー」に変る考え方として、「ユニバーサルデザイン」というものを考えついたのでした。

みんなで考えよう ちがいさがし

前回の答え

1．チョウチョの数　2．つくしの数
3．タンポポの数　4．緑の地面の形
5．衣の袖の長さ

これも仏教の言葉だよ！

根性（こんじょう）

もう少しでホームランが打てる。あと少しでテストで百点とれる。そんな時は一生懸命がんばってあきらめず、根性根性と根性。この「根性」はもともと仏教語なんだよ。

根性とは仏さまの教えを受け入れる力という意味だったんだよ。仏さまの教えを受け入れて実践するのは大変なことだけど、そこには大事なことがいっぱいつまっているんだよ。

だからみんなも何ごともあきらめずにがんばってね。そうしたら大切な物がいっぱい手に入れることができるよ。そう、根性根性根性！

ぷくぷく編集室

6月ってどんなイメージがありますか。シトシトと降る雨。きれいなアジサイの花。父の日。祝日が無い…。本格的な夏を迎える前の準備期間ですね。

左の絵と右の絵のちがうところを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30人に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。ファックスやEメールで送っていただいてもかまいません。

しめきりは9月1日です。

送り先
〒590-0935
大阪府堺市堺区神明町東3-1-40
法伝寺内　浄土宗児教連事務局
イキイキコドモタイムズ係
電話・ファックス　072-233-5354
Eメール　puk-puk@wf6.so-net.ne.jp

5月に起った中国四川省でのマグニチュード8の大地震では多数の人が亡くなり、何万人もの人が被害に遭いました。

授業中の校舎が倒れ児童や先生らが犠牲になったこともとても悲しい出来事です。

日本でも十三年前に阪神淡路大震災という大きな災害がありましたが、「喉元過ぎれば熱さ忘れる」ということわざがあるように、人は過ぎてしまったことはだんだんと忘れていくものです。地震国である日本でも、いつそのような大きな地震が起きるかわかりません。

いざという時のために、普段から災害が起きた時の心がまえや準備をしておきたいですね。

お知らせ

◇みなさんからの記事を待っています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。

◇またみなさんからの作品も待っています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◇送り先は

〒590-0935
大阪府堺市堺区神明町東3-1-40
法伝寺内　浄土宗児童教化連盟事務局
TEL・FAX　072-233-5354
Eメール　puk-puk@wf6.so-net.ne.jp

感想もいっしょに書いてくださいね。